

第3章

プロジェクト研究 I

1 研究の概要

(1) 研究主題

「今養版キャリアプランニング・マトリックスの活用に向けての取り組みの推進について」

(2) 設定理由

1年次は、今養版キャリアプランニング・マトリックス改訂版（以下、「マトリックス」と表記。）を完成させた。マトリックスは、3年間通して指導すべき内容を、横軸に学年、縦軸に7観点（「心と体」「自己理解」「自己内省」「知識・技術」「職業」「コミュニケーション」「応用力」）23項目（「心身の健康」～「人間関係」）の「指導の柱」をとって、各学年段階に指導すべき内容を配置した一覧表であり、時系列と指導内容の系統性を確認することができるツールである。

2年次は、マトリックスの要素を盛り込んだ各教科・形態の全体計画を作成し、その後、各教科・形態の年間指導計画と指導内容表の各項目との関連付け、内容の関連性の精査を各教科・形態のグループで進めた。

3年次は、2年次までの計画を基に授業を行いつつ、平成30年度に公表となる「次期学習指導要領」に基づいた教育課程編成に向けて、現段階における「キャリア教育全体計画」（試案）を作成する。次に、今年度の各教科・形態等の「単元の指導計画」を収集すること、そしてマトリックスと照合してつながりの状況を分析すること、さらに本校のシラバス様式を作り、整備することとなった。

(3) 研究の内容と方法

この整備に関わる業務は、教務部が担当した。「キャリア教育全体計画」が未作成であるため、現段階の教育課程を踏まえて「キャリア教育全体計画」（試案）を作成する。次に、マトリックスと各教科・形態のシラバスにおける指導目標との整合性を分析し、課題を明確化する。

そして、次期学習指導要領の内容を踏まえたマトリックスの見直し及びシラバスの作成と修正、単元の指導計画の作成を進めるため、その前段階の作業として、現段階においては評価規準を盛り込んだシラバスの様式を作成し、30年度の各教科・形態のシラバスを作成する。

(4) 推進日程

- 4月26日 第1回研究推進委員会：今年度の研修内容確認
- 5月12日 全体研修①
- 6月30日 第2回研究推進委員会：進捗状況の確認
- 8月23日 第3回研究推進委員会：進捗状況の確認
- 10月20日 第4回研究推進委員会：報告内容の交流
- 10月27日 全体研修（中間発表会）
- 12月18日 プロジェクト研究（マトリックスを使った教育課程の分析作業）推進のために、全先生方を対象に、全学年全教科及び形態の、単元指導計画のデータ提供を依頼（2次締切）
- 12月20日 第5回研究推進委員会：進捗状況の確認
- 1月22日 1月職員会議（「シラバス」の作成計画案の提示）

- 1月31日 第6回研究推進委員会：報告内容の交流
プロジェクト研究推進のために、全先生方を対象に、全学年全教科・形態の
単元指導計画のデータ提供を依頼（2次締切）
- 2月 9日 全体研修（校内研究報告会）
※教務部会で研究内容の3点について進捗状況に応じて交流した。また、職員会議で進捗
状況を報告した。

2 研究の実際

(1) 今年度の整備の状況について

①キャリア教育全体計画

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の内容を踏まえて、キャリア教育全体計画（試案）を作成した。2月初旬時点で高等部の学習指導要領が公表されていないため、作成途中の試案となっている。

②育成を目指す資質・能力の要素を踏まえたマトリックスの改訂

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の育成を目指す資質・能力の内容を踏まえて、マトリックスに文言の付加を行い、試案を作成した。

③マトリックスと各教科・形態の指導目標との関連性

次期学習指導要領の周知・徹底期間（平成30年度の単年度）内に事前準備を済ませ、平成31年度からの移行期間に備えるため、平成29年度内から先行して整備を開始することとした。2月初旬現在、全学年の全教科の単元の指導計画及び「単元・題材一覧」を収集しており、分析作業を進めているところである。そして、学年ごとにマトリックスと各教科・形態の指導目標との照合を行った。

また、本校の「シラバス」の様式作りについては、Excelを用いて既存の「単元・題材一覧」に評価規準を加えた様式で30年度版を作成した。これは、新たに様式を起こすのではなく、既存のデータをベースとして活用し、既存のデータを利用できるようにすることで、シラバス作成にかかる職員の業務負担をできる限り軽減するようにした。そのため、一連の作業計画の提示と様式の作成を行った。

3 成果と課題

(1) 成果

①キャリア教育全体計画（試案）

学校教育目標と地域における本校の使命（ミッション）、目指す生徒像、キャリア教育目標、学習の基盤となる資質・能力、育成を目指す資質・能力の順に系列化を行った。育成を目指す資質・能力とマトリックスとの関連付けを現段階で整理すると、次のページのキャリア教育全体計画（試案）のとおりとなった。これはあくまでも試案として作成したものであり、高等部学習指導要領が公表され次第、内容の整理等が必要である。

②育成を目指す資質・能力の要素を踏まえたマトリックスの改訂

中学部学習指導要領の内容を踏まえて、マトリックスに文言を付加した。

③マトリックスと各教科・形態の指導目標との関連性

マトリックスと全学年の各教科・形態の指導目標との関連付けの状況について、「マトリックスと各教科・形態の指導目標との関連一覧表」に整理した。

キャリア教育全体計画(試案)

| | | |
|--|--|--|
| <p>生徒の実態</p> <p>入所施設と自宅から通い、寄宿舎生活を送る生徒が多い。生徒の障がいの多様化と高機能化、家庭状況の多様性があり、生徒の生きる力の獲得と就労支援が必要である。</p> | <p>学校教育目標</p> <p>「豊かな心とつよい体をつくり 生涯にわたって自立し たくましく生きる生徒を育てる」</p> <p>地域における本校の使命（ミッション）</p> <p>今金町との「就労支援並びに自立支援に関する連携協定」に基づき、「地域と共に学び、地域と共に創造し、地域と共に生きる」（共学、共創、共生）を「地域に根ざした特色ある学校教育の創造」の視点として、社会に開かれた教育課程を具現化する「模擬株式会社 IMAKANE FACTORY」の活動を通じて、地方創生と共生社会の担い手を育成する。地域の関係機関との連携を深め、檜山管内の特別支援教育のセンター的機能を充実させ、地域の特別支援教育の充実と共生社会の実現に貢献する。</p> | <p>法的体系・道の方針</p> <p>日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 特別支援教育の基本方針</p> |
| <p>医療・保健・福祉機関との連携を図る</p> <p>就労・生活支援センターとの連携を図る</p> <p>労働・福祉行政と連携を図る</p> | <p>目指す生徒像</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望に向かって努力しやり遂げる生徒 ・健やかな体をつくり安全に留意して生活する生徒 ・人と適切なコミュニケーションができる生徒 ・自ら視野を広げ、豊かな心を持つ生徒 ・働く喜びを知り、社会に貢献できる生徒 | |
| <p>キャリア教育目標</p> <p>○3年次：就労に必要な知識・技能・態度を高め、卒業後の職業生活と自分らしい生活の在り方を自己決定できるようになる。</p> <p>○2年次：職業生活に必要な知識・技能・態度を身に付けるとともに、生涯続けられる自分にあった仕事を考え、働くことや生活していくことについて、具体的なイメージを持てるようにする。</p> <p>○1年次：自己理解や他者理解を深め、自立生活に必要な知識・技能・態度を身に付けるとともに、働くことの意義を理解し、意欲を持てるようにする。</p> | | |
| <p>学習の基盤となる資質・能力</p> | | |
| <p>言語能力</p> <p>(知識・技能) 言葉の働きや役割に関する理解(自分が用いる言葉に対するメタ認知に関わること)、言葉の特徴やきまりに関する理解と使い分け、言葉の使い方に関する理解と使い分け、言語文化に関する理解、既有知識(教科に関する知識、一般常識、社会的規範等)に関する理解</p> <p>(思考力・判断力・表現力等) 情報を理解したり、文章や発話により表現したりするための力として、情報を多面的・多角的に精査し構造化する力、言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力、言葉を通じて伝え合う力、構成・表現形式を評価する力、考えを形成し深める力。</p> <p>(学びに向かう力・人間性等) 言葉を通じて、社会や文化を創造しようとする態度、自分のものの見方や考え方を広げ深めようとする態度、集団としての考えを発展・深化させようとする態度、心を豊かにしようとする態度、自己や他者を尊重しようとする態度、自分の感情をコントロールして学びに向かう態度、言語文化の担い手としての自覚。</p> | <p>情報活用能力</p> <p>(知識・技能) 情報と情報技術を活用した問題の発見・解決等の方法や、情報化の進展が社会の中で果たす役割や影響、情報に関する法・制度やマナー、個人が果たす役割や責任等について、情報の科学的な理解に裏打ちされた形で理解し、情報と情報技術を適切に活用するために必要な技能を身に付けていること。</p> <p>(思考力・判断力・表現力等) 様々な事象を情報とその結びつきの視点から捉え、複数の情報を結びつけて新たな意味を見出す力や、問題の発見・解決等に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力を身に付けていること。</p> <p>(学びに向かう力・人間性等) 情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度等を身に付けていること。</p> | <p>問題発見・解決能力</p> <p>各教科等において、物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程を重視した深い学びの実現を教科等の特質に応じて図ることを通じて、各教科等のそれぞれの分野における問題の発見・解決に必要な力を身に付けられるようにする。</p> |
| <p>育成を目指す資質・能力</p> | | |
| <p>知識・技能</p> | <p>思考力・判断力・表現力等</p> | <p>学びに向かう力・人間性等</p> |
| <p>今養版キャリアプランニング・マトリックス</p> | | |
| <p>知識・技術</p> | <p>職業 コミュニケーション 応用力 自己理解</p> | <p>心と体 自己理解 自己内省 職業 応用力</p> |
| <p>各教科・領域との関係</p> | | |
| <p>○各教科</p> <p>○日常生活の指導</p> <p>○生活単元学習</p> <p>○作業学習</p> <p>○総合的な学習の時間</p> <p style="text-align: center;">※新学習指導要領高等部編の公表後に整理する。</p> | | |

育成を目指す資質・能力の要素を踏まえた「今養版キャリアプランニング・マトリックス」の改訂

| 指導 観点 | 指導の柱 | 1 学 年 段 階 (学びを通して気付く・知る) | 2 学 年 段 階 (将来を意識し、自ら学ぶ・行動する) | 3 学 年 段 階 (将来を見据え、自ら学ぶ・行動する) |
|---|---------------------------|--|--|--|
| 心 と 体 | 心身の健康 | ○健康でたくましい心と体の必要性に気付き、身に付けることができる。 | ○自分の心と体の変化をとらえ、心身の健康を維持することができる。 | ○卒業後の生活を見据え、自ら心と身体の健康が保てるよう、望ましい生活を考え、実行することができる。 |
| | 基本的な生活習慣の確立 | ○生活リズムを整え、基本的な食生活や規則正しい生活が分かる。 | ○自立した生活を意識し、望ましい生活習慣を身に付けることができる。 | ○卒業後の生活を見据え、自ら心と身体の健康が保てるよう、望ましい生活を考え、実行することができる。 |
| | 職業生活に必要な習慣形成 | ○将来の職業生活に向けた基本的な習慣を身に付けることができる。 | ○職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成することができる。 | 継続 |
| 自己 理 解 | 自己有用感、振り返り | ○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 ○活動場面での振り返りをもとに、活動の理由や見通しをもって、次の活動に生かすことができる。 | 継続 | 継続 |
| | 長所・課題の理解 | ○自分の長所や課題に気付くことができる。 | ○客観的に自分の長所や課題を評価することができる。 | ○自分の長所や課題を踏まえて、自分の気持ちや考えをしっかりと見つめることができる。 |
| 自己 内 省 | 物事に対する意欲 | ○時間いっぱい集中する意識をもち、目標を達成しようと学習に取り組むことができる。 ○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちをもつことができる。 ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。 | ○目標を達成するために、集中して学習に取り組むことができる。 | ○課題解決に向け、自ら物事に取り組むことができる。 |
| | 課題を解決しようとする心 | ○自己決定・ 振り返り (自己反省)の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢をもつことができる。 | ○自己決定・ 振り返り (自己反省)の過程を繰り返し、課題を解決しようとする習慣を身に付けることができる。 | ○ 学ぶことの大切さに気付き、学び続けようとする心構えを持つことができる。 (継続) |
| 知 識 ・ 技 術 | 社会の仕組みなどの知識・技術 | ○集団生活を通して、社会のルールやマナー、礼儀などを意識して、行動に生かすことができる。 | ○社会のルールやマナー、礼儀などを、状況に応じて使うことができる。 | 継続 |
| | 社会制度やサービスに関する理解と実生活での利用 | ○社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識を理解することができる。 | ○社会生活上の規範や法の遵守、権利侵害などへの対処方法などを理解することができる。 | 継続 |
| | 読み書き計算などの知識・技術 | ○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身に付け、日常生活に生かすことができる。 | 継続 | 継続 |
| | 消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 | ○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。 ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や労働の対価としての給与の意味を知ることができる。 | ○収入と支出のバランスを考え、模擬通貨などを使って、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることができる。 継続 | ○卒業後の収入と支出のバランスを考え、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることが大切であると分かり、実行する意欲をもつことができる。 継続 |
| 職 業 | 他者評価の受容 | ○他者から受けた評価に、耳を傾け、理解することができる。 | ○他者の考えや個性を尊重し、自分との差異を認めながらも受容することができる。 | ○他者の気持ちや考えを理解したり、尊重し、自分のあり方や生き方に生かすことができる。 |
| | 業務遂行能力 | ○与えられた仕事の意味を理解し、集中して取り組むことができる。 | ○手早さや正確さ、丁寧などを意識しながら、与えられた仕事に取り組むことができる。 | ○消費者の立場に立って、製品や作業の課題を見つけ、作業方法や作業工程などについて、 論理的に筋道を立てて 改善策を考え、実行したり、改善したりして新製品や新商品を考えることができる。 |
| | 自他の理解 | ○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。 | 継続 | 継続 |
| | 職業理解 | ○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに関心をもつことができる。 ○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。 | 継続 ○自分の能力や適性を踏まえて、将来の職業について具体的に考えることができる。 | ○職業生活の中にやりがいや生きがいを見だし、前向きに自己の未来を設計するなど、社会の一員である意識をもつことができる。 |
| | 社会における役割理解 | ○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。 | ○社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行することができる。 | 継続 |
| コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン | 自分から相手に発信 | ○場や状況に合わせた声の大きさと、挨拶や返事・報告などができる。 ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。 | 継続 | ○その場に応じた挨拶や返事・報告や相手の人権などを尊重した発言をすることができる。 |
| | 状況に応じた言葉遣いや振る舞い | ○相手の立場を考えて話したり、行動したりすることができる。 ○場や状況に応じた適切な言葉遣いや服装、身だしなみなどを心がけることができる。 ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。 | ○相手の立場を考えて適切な表現で助言したり、相手の助言を受け入れて考えたりすることができる。 継続 | ○課題に対する解決策を考え、話し合っ てよりよい解決策を見いだす。 継続 |
| | 必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力 | ○必要な支援を他者に求めることができる。 | ○必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話したりする関係を築き、自分の思いや意見を適切に伝えることができる。 | 継続 |
| | 相手を受け入れ、自らそこに参加する | ○相手の考えや気持ちを受け入れたたり、集団に合わせたりすることができる。 ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。 | ○相手の立場や考え方を理解して受け入れ、かかわることができる。 | ○自分や他者のよい点を認め、思いやりを持って、よりよい人間関係を作り上げることができる。 |
| 応 用 力 | TPO に応じた意思決定 | ○TPO に応じて何ができるか、何をすべきかを考え、判断し、選択することができる。 | ○自己の個性や興味・関心に基づいて、TPO に応じたよりよい選択をすることができる。 | ○卒業後の家庭生活や社会生活、職業生活において、自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うことができる。 |
| | 将来設計 | ○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。 | ○学校・寄宿舎生活、家庭生活において、計画を立て、物事に主体的に取り組むことができる。 | ○社会生活・職業生活等に必要な習慣を確立するとともに、余暇の活用などを図り、心豊かな理想とする将来の生活を前向きに設計することができる。 |
| | やりがい・生きがい | ○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。 | ○働くことにやりがいを感じるようになる。 | 継続 |
| | 情報活用 | ○学校や寄宿舎・地域社会などの中には様々な活動があることを、体験を通じて理解できる。 ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。 ○ 多様な文化に関心を持って情報を収集し、理解することができる。 | ○社会の出来事に興味をもち、働く人や仕事について調べることで、様々な情報を収集し、自ら活用することができる。 ○ 地球の多様な文化、社会に関心を持ち、理解の幅を広げる。 | ○希望する進路の実現に向け、卒業後の生活に必要な情報収集・取捨選択し、自ら判断して活用することができる。 継続 |
| | 人間関係 | ○集団活動に参加し、他者と協力することができる。 ○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力や共同して活動に取り組むことができる。 | ○集団において自分が果たす役割を理解し、周りとの協力することができる。 継続 | ○集団の一員として自ら役割を理解し、協力していくとともに、その役割を遂行していくことができる。 継続 |

※育成すべき資質・能力を踏まえて、マトリックスの文言を整理、付加し、元の表現は()に記入し、追加した表現は太字とした。

マトリックスと各教科・形態の指導目標との関連一覧表

| 指導観点 | 指導の柱 | 1 学年段階 (学びを通して気付く・知る) | 単元の目標 | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|---------------------------|---|---|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|--|---|---|
| | | | 国語 | 数学 | 音楽 | 体育 | 美術 | 生活単元学習 総合的な学習の時間 | 作業学習 家庭総合科 | 作業学習 農業科 | 作業学習 窯業科 | | | | | | |
| 心と体 | 心身の健康 | ○健康でたくましい心と体の必要性に気付き、身に付けることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・簡単な自己紹介ができる。 ・発声や発音に気を付けて話したり、聞いた話を書き写したりすることができる。 ・話を聞いて、内容を書き写したり、要点をまとめたりすることができる。 ・自分が思った簡単な意見を述べるすることができる。 ・作文の記入のきまりを理解し、書くことができる。 ・見聞きしたことや経験したことを順序立てて、書くことができる。 ・自分の気持ちや感じたことを言葉で伝えることができる。 ・丁寧語や謙譲語など立場による表現の違いを知ることができる。 ・現場実習の礼状など自分の気持ちや感謝の気持ちを文章で書くことができる。 ・日常使われる漢字の読み書きをすることができる。 ・クリスマスカードや年賀状など、季節に合わせた手紙(はがき)を書くことができる。 ・ボールペンなどを使って書写することができる。 ・人の意見を聞き取り、自分の意見を述べることができる。 ・自分の作文を読んだり、他の人の作文を聞いたりして、自分に置き換えて考えることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間の学習内容を知り、見通しや意欲をもつことができる。 ・物差しやはかりの使い方を理解し、正しく長さを計測することができる。 ・午前、午後の意味を理解することができる。 ・秒針、短針、長針の意味を理解することができる。 ・時刻表の読み方が理解でき、目的地までの移動時間や待ち時間を理解することができる。 ・時間の単位を理解できる。 ・お金の種類や大小を理解することができる。 ・具体物の合計金額を求めることができる。 ・おつりの意味を知り、求めることができる。 ・収支や支出、残高などの意味を理解し、電卓を使い正しく記入することができる。 ・百分率(%)、歩合の意味とその表し方がわかる。 ・長さや重さの単位を理解し、換算することができる。 ・長さや重さを計測する道具の使用法を理解し、正しく計測することができる。 ・図形の名称と形がわかる。 ・広さや面積を求めることができる。 ・立体の名称と形がわかる。 ・体積を求めることができる。 ・表やグラフの見方がわかる。 ・1年間学んだ内容を振り返ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間の学習内容を理解することができる。 ・対面式や各行事に向けて、正しく歌詞や音程を覚え、大きな声で校歌を歌うことができる。 ・プロや仲間の発表を鑑賞することができる。 ・テーマに合わせて曲を作ったり、ダンスを考えたりすることができる。 ・学校祭やフンドリーライブで取り組む曲や学習内容を理解することができる。 ・歌詞や音程、リズムやハーモニーなどを意識して取り組むことができる。 ・仲間の発表を鑑賞することで、良いところを自分に取り入れることができる。 ・より良い表現について考え、発表することができる。 ・百分率(%)、歩合の意味とその表し方がわかる。 ・長さや重さの単位を理解し、換算することができる。 ・様々な楽器の特徴を知り、演奏することができる。 ・様々な曲に取り組むことで、表現力を高めることができる。 ・図形の名称と形がわかる。 ・広さや面積を求めることができる。 ・立体の名称と形がわかる。 ・体積を求めることができる。 ・表やグラフの見方がわかる。 ・1年間学んだ内容を振り返ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを知り、見通しをもつことができる。 ・リーダーの指示に従って行動することができる。 ・安全に留意して行動することができる。 ・記録を測定し、現段階の能力を知ることができる。 ・投げる、捕る、打つなどの基本的な技術を身に付けることができる。 ・止まったボールや軽く投げられたボールを打つことができる。 ・簡易的な試合ができる。 ・体育祭の流れを知り、見通しをもつことができる。 ・よさこいの動きや学年種目の内容を知る。 ・リズムカルにバタ足をすることができる。 ・仲間の発表を鑑賞することで、良いところを自分に取り入れることができる。 ・より良い表現について考え、発表することができる。 ・百分率(%)、歩合の意味とその表し方がわかる。 ・長さや重さの単位を理解し、換算することができる。 ・様々な楽器の特徴を知り、演奏することができる。 ・様々な曲に取り組むことで、表現力を高めることができる。 ・図形の名称と形がわかる。 ・広さや面積を求めることができる。 ・立体の名称と形がわかる。 ・体積を求めることができる。 ・表やグラフの見方がわかる。 ・1年間学んだ内容を振り返ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・年間の学習内容を理解することができる。 ・校舎の周りに生えている植物を自分の感性でとらえ、伝えたい思いを込めて描くことができる。 ・ステンドグラスの技法を使って、イラストをセロハンにカットして小物入れを作ることができる。 ・オリジナルキーホルダーを作成することができる。 ・安全に配慮しながら、集中して取り組むことができる。 ・玉ねぎを精密に描くことができる。 ・観察力を高めることができる。 ・銅板を使って、彫金作業を行うことができる。 ・墨の濃淡にじみで絵を描くことができる。 ・グループで話し合っ、海の底を表現することができる。 ・スキーマの靴の準備を自分で行うことができる。 ・物体の影を認識し、混色の技法を理解することができる。 ・仲間と協力して活動することができる。 ・心と体が相関関係にあることを知ることができる。 ・大人としての人との関わり方や行動について知ることができる。 ・自己理解を深めることができる。 ・働いて生活することの大切さについて理解を深め、働くことに関心をもつことができる。 ・実習先の仕事内容や自分の役割を知ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・作業学習について理解できる。 ・商品開発の流れについて理解することができる。また、食品衛生上の注意点についても学ぶことができる。 ・商品開発の各段階において、必要な知識を踏まえて作業に当たることができる。 ・消費者の立場に立った視点で商品開発に参加することができる。 ・製品を作る作業工程や注意点を理解することができる。 ・製品の製造数を踏まえ、あらかじめ立てられた作業計画、手順にしたがって製造することができる。 ・製品を作る作業工程を理解し、効率のよい作業環境になるよう工夫することができる。 ・製品の製造数を踏まえ、グループ等で作業計画と手順を設定し、それにしたがって製造することができる。 ・1年間の学習の見直しをもつことができる。 ・教師の指示を踏まえて安全に活動できる。 ・作業工程にしたがって、安全に作業を進めることができる。 ・安全と衛生に配慮し、報告や連絡、相談などを適切に行うことができる。 ・各種作業内容の流れや材料、機材や注意点などに関する教師の指導を理解することができる。 ・工程と製造量を確認し、効率よく正確に作業することができる。 ・作業に必要な道具や材料、分量などを理解することができる。 ・必要に応じてメモを取ったり、分からないことを教師に確認したりして作業することができる。 ・手順を確認し、効率よく丁寧に作業することができる。 ・仲間と協力して活動することができる。 ・心と体が相関関係にあることを知ることができる。 ・大人としての人との関わり方や行動について知ることができる。 ・自己理解を深めることができる。 ・働いて生活することの大切さについて理解を深め、働くことに関心をもつことができる。 ・実習先の仕事内容や自分の役割を知ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・道具の扱い方を知り、安全に正しく使うことができる。 ・1年間の作業の流れを確認することができる。 ・安全に留意して取り組むことができる。 ・製品を丁寧に作り、扱うことができる。 ・決められた手順どおりに播種やポット上げをすることができる。 ・指示を理解し、作業に取り組むことができる。 ・玉ねぎの育て方を知り、育てることができる。 ・玉ねぎの収穫から在庫管理までの仕方を知り、管理することができる。 ・玉ねぎを決められたサイズごとに選別することができる。 ・スイートコーンの育て方を知り、育てることができる。 ・スイートコーンを収穫し、選別することができる。 ・接客の仕方について知り、実践することができる。 ・決められた箇所を時間内に除雪することができる。 ・洗いが残さないように洗うことができる。 ・指示を理解し、作業に取り組むことができる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習した内容を理解し、取り組むことができる。 ・目標や課題を意識し取り組むことができる。 ・製品を丁寧に作り、扱うことができる。 ・道具の名前を知ることができる。 ・道具の置き場所、片付け方を知ることができる。 ・粘土の特性を知ることができる。 ・板づくりの技法を理解することができる。 ・湯呑みづくりの技法を理解することができる。 ・協力して準備や片付けができる。 ・分業体制について理解することができる。 ・販売会へ出品する製品を作製することができる。 ・自分の苦手な作業や得意な作業を知ることができる。 ・決められた箇所を時間内に除雪することができる。 ・洗いが残さないように洗うことができる。 ・指示を理解し、作業に取り組むことができる。 | | | | | | | |
| | 自己理解 | 自己有用感、振り返り | | | | | | | | | ○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 | ○活動場面での振り返りをもとに、活動の理由や見通しをもって、次の活動に生かすことができる。 | ○自分の長所や課題に気付くことができる。 | ○時間いっぱい集中する意識をもち、目標を達成しようと学習に取り組むことができる。 | ○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 | ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。 | ○自己決定・ 振り返り (自己反省)の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢をもつことができる。 |
| | 自己内省 | 物事に対する意欲 | | | | | | | | | ○時間いっぱい集中する意識をもち、目標を達成しようと学習に取り組むことができる。 | ○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 | ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。 | ○自己決定・ 振り返り (自己反省)の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢をもつことができる。 | ○課題を解決しようとする心 | ○自己決定・ 振り返り (自己反省)の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢をもつことができる。 | |
| 知識・技術 | 社会の仕組みなどの知識・技術 | ○集団生活を通して、社会のルールやマナー、礼儀などを意識して、行動に生かすことができる。 | | | | | | | | | ○社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識を理解することができる。 | ○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身に付け、日常生活に生かすことができる。 | ○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。 | ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や労働の対価としての給与の意味を知ることができる。 | | | |
| | 社会制度やサービスに関する理解と実際生活での利用 | ○社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識を理解することができる。 | | | | | | | | | ○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身に付け、日常生活に生かすことができる。 | ○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。 | ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や労働の対価としての給与の意味を知ることができる。 | | | | |
| | 読み書き計算などの知識・技術 | ○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身に付け、日常生活に生かすことができる。 | | | | | | | | | ○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。 | ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や労働の対価としての給与の意味を知ることができる。 | | | | | |
| | 消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 | ○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。 | | | | | | | | | ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や労働の対価としての給与の意味を知ることができる。 | | | | | | |
| 職業 | 他者評価の受容 | ○他者から受けた評価に、耳を傾け、理解することができる。 | | | | | | | | | ○与えられた仕事の意味を理解し、集中して取り組むことができる。 | ○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。 | ○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに興味をもつことができる。 | ○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 | ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。 | ○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。 | |
| | 業務遂行能力 | ○与えられた仕事の意味を理解し、集中して取り組むことができる。 | | | | | | | | | ○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。 | ○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに興味をもつことができる。 | ○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 | ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。 | ○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。 | | |
| | 自他の理解 | ○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。 | | | | | | | | | ○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに興味をもつことができる。 | ○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 | ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。 | ○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。 | | | |
| | 職業理解 | ○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに興味をもつことができる。 | | | | | | | | | ○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 | ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。 | ○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。 | | | | |
| コミュニケーション | 自分から相手に発信 | ○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶や返事・報告などができる。 | | | | | | | | | ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。 | ○相手の立場を考えて話したり、行動したりすることができる。 | ○相手や状況に応じた適切な言葉遣いや服装、身だしなみなどを心がけることができる。 | ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。 | ○必要な支援を他者に求めることができる。 | ○相手の考えや気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 | ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。 |
| | 状況に応じた言葉遣いや振る舞い | ○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶や返事・報告などができる。 | | | | | | | | | ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。 | ○相手の立場を考えて話したり、行動したりすることができる。 | ○相手や状況に応じた適切な言葉遣いや服装、身だしなみなどを心がけることができる。 | ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。 | ○必要な支援を他者に求めることができる。 | ○相手の考えや気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 | ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。 |
| | 必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力 | ○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶や返事・報告などができる。 | | | | | | | | | ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。 | ○相手の立場を考えて話したり、行動したりすることができる。 | ○相手や状況に応じた適切な言葉遣いや服装、身だしなみなどを心がけることができる。 | ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。 | ○必要な支援を他者に求めることができる。 | ○相手の考えや気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 | ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。 |
| | 相手を受け入れ、自らそこに参加する | ○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶や返事・報告などができる。 | | | | | | | | | ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。 | ○相手の立場を考えて話したり、行動したりすることができる。 | ○相手や状況に応じた適切な言葉遣いや服装、身だしなみなどを心がけることができる。 | ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。 | ○必要な支援を他者に求めることができる。 | ○相手の考えや気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 | ○自分と相手の違いに気付き、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。 |
| 応用力 | TPO に応じた意思決定 | ○TPO に応じて何ができるか、何をすべきかを考え、判断し、選択することができる。 | ○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。 | ○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。 | ○学校や寄宿舎・地域社会などの中には様々な活動があることを、体験を通じて理解できる。 | ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。 | ○多様な文化に関心を持って情報を収集し、理解することができる。 | ○集団活動に参加し、他者と協力することができる。 | ○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力や共同して活動に取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| | 将来設計 | ○TPO に応じて何ができるか、何をすべきかを考え、判断し、選択することができる。 | ○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。 | ○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。 | ○学校や寄宿舎・地域社会などの中には様々な活動があることを、体験を通じて理解できる。 | ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。 | ○多様な文化に関心を持って情報を収集し、理解することができる。 | ○集団活動に参加し、他者と協力することができる。 | ○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力や共同して活動に取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| | やりがい・生きがい | ○TPO に応じて何ができるか、何をすべきかを考え、判断し、選択することができる。 | ○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。 | ○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。 | ○学校や寄宿舎・地域社会などの中には様々な活動があることを、体験を通じて理解できる。 | ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。 | ○多様な文化に関心を持って情報を収集し、理解することができる。 | ○集団活動に参加し、他者と協力することができる。 | ○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力や共同して活動に取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| | 情報活用 | ○TPO に応じて何ができるか、何をすべきかを考え、判断し、選択することができる。 | ○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。 | ○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。 | ○学校や寄宿舎・地域社会などの中には様々な活動があることを、体験を通じて理解できる。 | ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。 | ○多様な文化に関心を持って情報を収集し、理解することができる。 | ○集団活動に参加し、他者と協力することができる。 | ○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力や共同して活動に取り組むことができる。 | | | | | | | | |

| 指導観点 | 指導の柱 | 2 学年段階 (将来を意識し、自ら学ぶ・行動する) | 単元の目標 | | | | | | | |
|-----------|---------------------------|---|--|--|--|---|--|--|---|--|
| | | | 国語 | 数学 | 音楽 | 体育 | 美術 | 生活単元学習 総合的な学習の時間 | 作業学習 家庭総合科 | 作業学習 農業科 |
| 心と体 | 心身の健康 | ○自分の心と体の変化をとらえ、心身の健康を維持することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習予定が分かる。 自己紹介ができる。 短い文章を読み聞きして内容を要約し、相手にわかりやすく発表することができる。 1 学期の学習内容の理解を深めることができる。 発音や声の大きさに気を付けて話すことができる。 助詞や接続詞を適切に使って、話すことができる。 文章の内容を理解し、筋道を立てて自分の意見を述べることができる。 相手の意見を理解し、自分の考えと照らし合わせながら話し合うことができる。 主語や述語、助詞などの使用に気を付けて正しく文章を書くことができる。 出来事や感想を順序立てて書くことができる。 読み手を意識し、推敲して書くことができる。 年賀状の意味を理解し、気持ちを込めて書くことができる。 毛筆で文字を書くことができる。 パソコンを使った年賀状の作成方法を理解することができる。 2 学期の学習内容の理解を深めることができる。 自分の立場を理解して意見を述べ、議論することができる。 生活に必要な国語的な基礎的知識や技能を高めることができる。 外国の言葉に触れ、理解を深めることができる。 日常よく使う漢字を読むことができる。 1 年間の学習内容を振り返り、理解を深めることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 年間の学習内容を理解することができる。 お金の種類や大小の理解ができる。 具体物の合計金額やおつりの計算ができる。 およその金額と支払い方法が理解できる。 概数が分かる。 金銭出納帳の記入ができる。 百分率や割合が分かる。 時計を読むことができる。 時刻と時間の計算ができる。 時間や距離、速さの関係などを理解することができる。 テレビ番組や時刻表を読むことができる。 表やグラフの見方が分かる。 長さや重さの意味と単位を理解することができる。 物差しを使って、長さを測定することができる。 はかりを使って、重さを測定することができる。 身の回りのもの長さや重さが分かる。 容積が分かり、容積を測ることができる。 単位を使い分けることができる。 単位の換算ができる。 暦を理解することができる。 週予定や年間予定が計画できる。 定規やコンパスを使用、図形を描くことができる。 円の性質が分かる。 平面図形の性質が理解できる。 空間図形の性質が理解できる。 面積や体積を求めることができる。 線上がりのある足し算ができる。 繰り下がりのある引き算ができる。 九九の計算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 年間の学習内容を理解することができる。 卒業式で取り組む曲について理解することができる。 国歌や校歌、卒業式歌などの正しい歌詞や音程を覚え、大きな声で歌うことができる。 歌詞や音程、リズム、ハーモニーなどを意識して歌うことができる。 適切に強弱をつけて歌うことができる。 プロの発表を鑑賞することで、様々な表現を知ることができる。 表やグラフの見方が分かる。 長さや重さの意味と単位を理解することができる。 物差しを使って、長さを測定することができる。 はかりを使って、重さを測定することができる。 身の回りのもの長さや重さが分かる。 容積が分かり、容積を測ることができる。 単位を使い分けることができる。 単位の換算ができる。 暦を理解することができる。 週予定や年間予定が計画できる。 定規やコンパスを使用、図形を描くことができる。 円の性質が分かる。 平面図形の性質が理解できる。 空間図形の性質が理解できる。 面積や体積を求めることができる。 線上がりのある足し算ができる。 繰り下がりのある引き算ができる。 九九の計算ができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 授業の流れを知り、見通しをもつことができる。 集団の約束や決まりを守って行動することができる。 集団行動の主な行動様式を身に付けることができる。 昨年度の記録を参考にしながら取り組むことができる。 記録を測定し、現段階の能力を知れる。 投げるや捕る、打つなどの基本的な技術を習得する。 手と足の動きに呼吸を合わせるができる。 速く、泳ぐことができる。 ルールを理解して試合に取り組むことができる。 体育祭のリレーの練習で、アンダーハンドパスやオーバーハンドパスなどの基本的な技術を知る。 障がい者スポーツの特性やルールを知る。 基本的な技や発展技ができる。 自己の能力に応じて技を組み合わせ、演技することができる。 バスやドリブル、シュートなど、ゲームに必要な基本的な技術を習得する。 スキーを滑らせ効率良く前に進むことができる。 フットサルの基本的な技術を習得する。 スパイクやレシーブの基本的な技術を知ることができる。 1 年間の活動内容、学びを振り返ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 年間の学習内容を理解することができる。 牛乳パックで手づくりのおもちやをつくることができる。 アイヌ民族文様を知る。(北海道の歴史) 色画用紙や雑誌をちぎった紙を貼りつけて建物を描くことができる。(地域学習) 立体感や質感を表現することができる。 彫刻の制作手順を理解することができる。 彫りながら木のぬくもりを感じるができる。 フクロウについて知り、木彫りのフクロウを作ることができる。 指先を使って、粘土でシーサーを作ることができる。(沖縄の歴史) 葛飾北斎について知ることができる。 国や地域の仕組みや働きを理解し、自立した生活の仕方を自分なりにまとめることができる。 国や地域と自分の生活との関係を知り、自立した生活のためにどのような行動をすべきか考えて答えることができる。(江戸時代) 校舎内の普段見逃している場所に注目してその場所の美しさを表現することができる。 カーボン紙を使って、イラストを転写することができる。 病気やけがの原因が分かり、予防を心掛けることができる。 性感染症や性犯罪、性被害などについて知識を深めることができる。 自分と相手との距離感や立場の違いが分かる。 命の重さについて、理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 紙すきの工程を理解することができる。 どのような製品を作ることができるかを考えることができる。 自分の能力や適性を踏まえて、将来の職業について具体的に考えることができる。 自分や他者の職業適性を説明することができる。 現時点の自分の働く力を知り、作業強化日に生かすことができる。 自ら情報を収集し、まとめ、発表することができる。 集団生活におけるきまりやマナーを知ることができる。 快適な住環境の整え方を知り、正しい清掃の仕方について理解することができる。 住環境を整理整頓する大切さを理解することができる。 グループホームでの生活の中で考えられる住生活での問題について、解決方法を考えることができる。 住生活をよりよくしようと道具の使い方やきまり、マナーなどを学んだり、積極的に発言したり、考えたりすることができる。 国や地域それぞれの仕組みや働きを理解し、自立した生活に向けて必要な事柄を理解することができる。 国や地域に関する言葉や内容を覚え、自立の意味を理解することができる。 国や地域の仕組みや働きと自分の生活とを関連付けて考え、自立した生活の仕方を自分なりにまとめることができる。 国や地域と自分の生活との関係を知り、自立した生活のためにどのような行動をすべきか考えて答えることができる。 学習内容に関心を持ち、自発的に意見や質問をするなど、積極的に学習に参加することができる。 自立して生活していくために必要な学習であることを理解し、学習活動に参加することができる。 食事や健康に関する基礎的な知識を理解することができる。 人によって、価値観や考え方はそれぞれで違うことが分かる。 病気やけがの原因が分かり、予防を心掛けることができる。 性感染症や性犯罪、性被害などについて知識を深めることができる。 自分と相手との距離感や立場の違いが分かる。 命の重さについて、理解することができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 農業用語や道具の使い方がわかる。 1 年間の作業学習を確認することができる。 指示どおり作業ができる。 対象物をよく見て作業することができる。 挨拶や返事、報告などができる。 花壇花を使って、花壇を作ることができる。 タマネギの一般管理の作業の仕方を理解することができる。 販売会に向けて、製品のポスターやPOPを作ることができる。 レターセットやぼち袋、はがきセットの作成工程を理解することができる。 はがきや封筒、賞状用紙の受注生産を確認し、検討することができる。 巾着袋、小物入れ、バッグを作成することができる。 ランチョンマットの作成工程を理解することができる。 ジャガイモを収穫することができる。 豆類やジャガイモを正確に選別することができる。 プリムラやサイネリアの播種の仕方を理解することができる。 プリムラやサイネリアのポット上げを正確に作業することができる。 在庫を管理することができる。 入庫表や出庫表を作ることができる。 失敗などの過失はすぐに謝罪することができる。 作業の決まりや指示、注意点などを理解して、そのとおり速やかに行動する。 リーダーが作業グループ全体の動きを見て、作業の仕方について助言できる。 作業態度においてのよい点や改善すべき点を知ることができる。 | <ul style="list-style-type: none"> 学習した内容を理解し、取り組むことができる。 目標や課題を意識し取り組むことができる。 製品を丁寧に作り、扱うことができる。 1 年間の目標を確認することができる。 お客さんから湯呑みの使い勝手を聞いて、改善することができる。 製品作りに向けた検討会で積極的に意見を言うことができる。 外注品を作製する準備をすることができる。 板づくりや鋳込み、機械ろくろの作業工程を正確に行うことができる。 製品のPOPを作ることができる。 販売会に向けて、レジ打ちや会計、接客を協力することができる。 作業が完了するまで責任をもって取り組むことができる。 他の人の作業に対してむやみに口出ししない。 一定時間にできるだけ多くの仕事ができるように、無駄な動きをせずに作業することができる。 指示には、速やかに従って行動することができる。 指導を受けた内容を理解し、改善しようと努力することができる。 細かなことや大切なことに気を配って作業することができる。 |
| | 基本的な生活習慣の確立 | ○自立した生活を意識し、望ましい生活習慣を身に付けることができる。 | | | | | | | | |
| | 職業生活に必要な習慣形成 | ○職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成することができる。 | | | | | | | | |
| 自己理解 | 自己有用感、振り返り | ○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 ○活動場面での振り返りをもとに、活動の理由や見通しをもって、次の活動に生かすことができる。 | | | | | | | | |
| | 長所・課題の理解 | ○客観的に自分の長所や課題を評価することができる。 | | | | | | | | |
| 自己内省 | 物事に対する意欲 | ○目標を達成するために、集中して学習に取り組むことができる。 ○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| | 課題を解決しようとする心 | ○自己決定・振り返り(自己反省)の過程を繰り返し、課題を解決しようとする習慣を身に付けることができる。 | | | | | | | | |
| 知識・技術 | 社会の仕組みなどの知識・技術 | ○社会のルールやマナー、礼儀などを、状況に応じて使うことができる。 | | | | | | | | |
| | 社会制度やサービスに関する理解と実際生活での利用 | ○社会生活上の規範や法の遵守、権利侵害などへの対処方法などを理解することができる。 | | | | | | | | |
| | 読み書き計算などの知識・技術 | ○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身に付け、日常生活に生かすことができる。 | | | | | | | | |
| | 消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 | ○収入と支出のバランスを考え、模擬通貨などを使って、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることができる。 ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や労働の対価としての給与の意味を知ることができる。 | | | | | | | | |
| 職業 | 他者評価の受容 | ○他者の考えや個性を尊重し、自分との差異を認めながらも受容することができる。 | | | | | | | | |
| | 業務遂行能力 | ○手早さや正確さ、丁寧さなどを意識しながら、与えられた仕事に取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| | 自他の理解 | ○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。 | | | | | | | | |
| | 職業理解 | ○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに関心をもつことができる。 ○自分の能力や適性を踏まえて、将来の職業について具体的に考えることができる。 | | | | | | | | |
| コミュニケーション | 社会における役割理解 | ○社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行することができる。 | | | | | | | | |
| | 自分から相手に発信 | ○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶や返事・報告などができる。 ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。 | | | | | | | | |
| | 状況に応じた言葉遣いや振る舞い | ○相手の立場を考えて適切な表現で助言したり、相手の助言を受け入れて考えたりすることができる。 ○場や状況に応じた適切な言葉遣いや服装、身だしなみなどを心がけることができる。 ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。 | | | | | | | | |
| | 必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力 | ○必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話したりする関係を築き、自分の思いや意見を適切に伝えることができる。 | | | | | | | | |
| 応用力 | 相手を受け入れ、自らそこに参加する | ○相手の立場や考え方を理解して受け入れ、かかわることができる。 | | | | | | | | |
| | TPO に応じた意思決定 | ○自己の個性や興味・関心に基づいて、TPO に応じたよりよい選択をすることができる。 | | | | | | | | |
| | 将来設計 | ○学校・寄宿舎生活、家庭生活において、計画を立て、物事に主体的に取り組むことができる。 | | | | | | | | |
| | やりがい・生きがい | ○働くことにやりがいを感じるができる。 | | | | | | | | |
| 人間関係 | 情報活用 | ○社会の出来事に興味をもち、働く人や仕事について調べることで、様々な情報を収集し、自ら活用することができる。 ○地球の多様な文化、社会に関心を持ち、理解の幅を広げる。 | | | | | | | | |
| | 人間関係 | ○集団において自分が果たす役割を理解し、周りとの協力することができる。 ○リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームとして協力や共同して活動に取り組むことができる。 | | | | | | | | |

| 指導観点 | 指導の柱 | 3 学年段階 (将来を見据え、自ら学ぶ・行動する) | 単元の目標 | | | | | | | | |
|-----------|---------------------------|---|---|--|--|---|---|--|---|--|--|
| | | | 国語 | 数学 | 音楽 | 体育 | 美術 | 生活単元学習 総合的な学習の時間 | 作業学習 生活家庭科 | 作業学習 農業科 | 作業学習 産業科 |
| 心と体 | 心身の健康 | ○卒業後の生活を見据え、自ら心と身体の健康が保てるよう、望ましい生活を考え、実行することができる。 | ・見学旅行のしおりや壁新聞でどのような内容を書けばいいかを自分なりに考え、他者の考えも取り入れてまとめることができる。 ・TPOに応じた言葉遣いや相手を意識した表現をすることができる。 ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作るすることができる。 | ・年間の学習内容を知り、見通しや意欲をもつことができる。 ・金種と金額の大小を理解できる。 ・金額の合計やお釣りの計算ができる。 ・およその金額と支払い方が分かる。 ・金銭出納帳の記入ができる。 ・概数が分かる。 ・百分率や割合が分かる。 ・午前・午後、朝昼夕夜、時分秒、日課などが分かる。 ・テレビ番組表や時刻表を読むことができる。 ・時間や時刻についての問題を読み、計算することができる。 ・速さや時間、距離の関係などが分かり、計算することができる。 ・暦を理解することができる。 ・元号や西暦が分かる。 ・十二支や自分の干支が分かる。 ・長さや重さ、広さ、容積(体積)などの意味と単位が分かる。 ・身の回りのものの長さや重さが分かる。 ・物差しやはかりを使うことができる。 ・容積が分かり、容積をはかることができる。 ・面積や体積を求めることができる。 ・単位を使い分けることができる。 ・単位の換算ができる。 | ・年間の学習内容を理解することができる。 ・卒業式で取り組む曲について理解することができる。 ・歌詞の意味を考え、気持ちを込めて歌うことができる。 ・国歌や校歌、卒業式歌などの歌詞や音程を覚え、大きな声で歌うことができる。 ・歌詞や音程、リズムやハーモニーなどを意識して歌うことができる。 ・フレーズを意識して歌うことができる。 ・プロの発表を鑑賞することで、様々な表現を知ることができる。 ・仲間の発表を鑑賞することで、良いところを自分に取り入れることができる。 ・音楽を聴いて感じたイメージを創造的に身体表現することができる。 ・テーマに合わせて曲を作ったり、ダンスを考えたりすることができる。 ・学校祭やフレンドリーライブで取り組む曲や学習内容を理解することができる。 ・様々な曲に取り組むことで表現力を高めることができる。 ・より良い表現について考え、発表することができる。 ・基本的な音符について理解することができる。 ・様々な楽器の特徴を知り、演奏することができる。 ・これまでの学習内容の応用問題を解くことができる。 | ・授業の流れを知り、見通しをもつことができる。 ・集団行動において、機敏かつ的確に行動することができる。 ・記録を測定し、現段階の自分の能力を知ることができる。 ・昨年度の記録と比べて自己分析することができる。 ・正しいフォームを意識して全力で走ることができる。 ・一定のペースで長い距離を走ることができる。 ・投げることや捕ること、打つことなどの基本的技術を試合で生かすことができる。 ・チームで協力して試合に取り組むことができる。 ・パスやドリブル、シュートなどの基本的な技術を試合で生かすことができる。 ・ルールを理解し、試合に取り組むことができる。 ・水中で顔をつけてバタ足をするすることができる。 ・クロールや平泳ぎ、潜水などができる。 ・線や形を組み合わせて模様を描くことができる。 ・全身を使って、交互滑走をすることができる。 ・伸ばす部分を意識してストレッチを行うことができる。 ・安全や自己の健康に留意して、行動することができる。 | ・植物をポスターカラーのインクによる版画で刷り上げることができる。 ・うちわを作っ て、生活の中で使用することができる。 ・デザインナイフを使って、切り絵を作成することができる。 ・今町のぞうり作りの講師から作り方を聞いて作成することができる。 ・ポスターの字体を明朝体とゴシック体でデザインすることができる。 ・テーマを決めて和紙を染めることができる。 ・染め上がりを用意して作業することができる。 ・学校祭をイメージしたポスターを描くことができる。 ・全体の構図を考えて描くことができる。 ・好きな色で意図的に配色することができる。 ・安全に配慮しながら、静かに集中することができる。 ・目的や用途に合わせて、適切な材料・用具を選択して使うことができる。 ・線や形を組み合わせて模様を描くことができる。 ・自分の作品や他者の作品を大切にすることができる。 ・他者の作品と自分の作品を見比べて、感想や意見を述べる | ・1年間の学習内容を知り、学習の見通しや就職への気持ちを高めることができる。 ・学校や社会のルールの違いや共通点を知り、その場の状況を判断し、望ましい行動を選択することができる。 ・調べ学習を通して、自分の住む地域やその他の地域の特色や様子を知る。 ・見学や体験を通して、社会生活を豊かにする知識と教養、公衆道徳などを身に付ける。 ・集団の中の自己の役割を自覚し、仲間と協力しながら責任をもって行動する。 ・見学や研修を通し、職種による勤労観の違いや共通することを知り、自分の考えとしてまとめることができる。 ・性に対する正しい知識の習得を深め、社会人になるために望ましい心身の成長を図ることができる。 ・異性(男女交際など)との関わり方などの正しい知識を身に付け、これからの日常生活や卒業後の生活に生かすことができる。 ・前提実習の意義や目的を理解し、必要な知識や態度を学ぶことができる。 ・実習を振り返り、課題と成果を明らかにし、今後の学習・生活に目標をもつことができる。 ・自らの将来を具体的に考え、積極的に学習に取り組むことができる。 ・舞台発表の内容を理解し楽しみながら活動することができる。 ・舞台発表で自分の役割を果たしながら、協力して取り組むことができる。 ・舞台発表の内容をふりかえり、作文にまとめることができる。 ・金銭管理や働くこと、携帯電話の使い方など、卒後の望ましい生活に直結した知識を身に付けることができる。 ・卒後の生活の中で、便利なことや不便なこと、注意すべきことなどを自分の言葉で説明することができる。 ・自分の役割を自覚し、責任をもって活動に参加することができる。 | ・道具の正しい使い方や清掃の正しい順序がわかる。 ・進捗状況や仲間の動きに合わせて作業を行うことができる。 ・挨拶や返事、報告や連絡、相談などができる。 ・作業内容に応じて必要な道具を準備することができる。 ・製品の特徴を理解することができる。 ・薬品の性質を知り、安全に気を付けて取り扱うことができる。 ・手順や薬品などの容量が分かる。 ・手早く、正確に製品を作製することができる。 ・自分の目標や課題を意識して作業に取り組むことができる。 ・誰に対しても、気持ちよい挨拶ができる。 ・デザインや形を工夫して製品を作製することができる。 ・定規とカッターを使って、丁寧に名刺を作製することができる。 ・賞状用の用紙やA4、B5の用紙、はがきを作製することができる。 ・ぼち袋やレターセット、メモ帳を丁寧に作製することができる。 ・ポーチやバックを丁寧に縫って作製することができる。 ・固形エコ石けんや液体エコ石けんの作製手順を理解して、丁寧に作製することができる。 ・リーダーの言葉掛けで、準備と片付けをすることができる。 ・作業のポイントが分かり、周囲を見て協力して作業することができる。 ・働くことの喜びを知り、意欲的に作業に取り組むことができる。 ・自分の作業の様子を振り返り、反省することができる。 | ・各製品の完成までの工程を理解し、正しい技能を身に付けることができる。 ・周囲の仲間の進行状況を正しく把握し、それに合った正しい行動を取ることができる。 ・勤労への意欲、挨拶・返事・質問応答・協力などの態度を身に付けることができる。 ・学校祭での製品販売の目的と計画立案、販売の用意について正しく理解することができる。 ・校内販売会と卒業制作の目的及び計画立案について、正しく理解して取り組むことができる。 ・販売会の準備で、POPを作ったり、値札付けたりすることができる。 ・手早く、正確に各工程を踏んで正しく作り上げることができる。 ・鑄込みに必要な技法を正しく身に付けることができる。 ・仲間の役割を把握しながら自分の役割に正確に取り組むことができる。 ・仕事の見通しをもって正確な仕事ができる。 ・製品の良否を正確に判断できる。 ・不良品が発生しないように、作業の仕方を工夫できる。 ・自信を持って、意欲的に自分の仕事に取り組むことができる。 ・新しい仕事内容に気後れすることなく積極的に取り組むことができる。 | |
| | 職業生活に必要な習慣形成 | ○職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成することができる。 | | | | | | | | | |
| 自己理解 | 自己有用感、振り返り | ○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 ○活動場面での振り返りをもとに、活動の理由や見通しをもって、次の活動に生かすことができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作るすることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 長所・課題の理解 | ○自分の長所や課題を踏まえて、自分の気持ちや考えをしっかりと | | | | | | | | | |
| 自己内省 | 物事に対する意欲 | ○課題解決に向け、自ら物事に取り組むことができる。 ○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 課題を解決しようとする心 | ○学ぶことの大切さに気付き、学び続けようとする心構えを持つことができる。 ○自己決定・振り返り(自己反省)の過程を繰り返し、課題を解決しようとする習慣を身に付けることができる。 | | | | | | | | | |
| 知識・技術 | 社会の仕組みなどの知識・技術 | ○社会のルールやマナー、礼儀などを、状況に応じて使うことができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 社会制度やサービスに関する理解と実生活での利用 | ○社会生活上の規範や法の遵守、権利侵害などへの対処方法などを理解することができる | | | | | | | | | |
| 職 | 読書書き計算などの知識・技術 | ○金銭管理や読書書き、計算などの生活に必要な知識を身に付け、日常生活に生かすことができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 | ○卒業後の収入と支出のバランスを考え、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることが大切であると分かり、実行する意欲をもつことができる。 ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や労働の対価としての給与の意味を知ることができる。 | | | | | | | | | |
| 業 | 他者評価の受容 | ○他者の気持ちや考えを理解したり、尊重したりして、自分のあり方や生き方に生かすことができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 業務遂行能力 | ○消費者の立場に立って、製品や作業の課題を見つけ、作業方法や作業工程などについて、論理的に筋道を立てて改善策を考え、実行したり、改善したりして、新製品や新商品を考えることができる。 | | | | | | | | | |
| 業 | 自他の理解 | ○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに関心をもつことができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 職業理解 | ○職業生活の中にもやりがいや生きがいを見だし、前向きに自己の未来を設計するなど、社会の一員である意識をもつことができる。 | | | | | | | | | |
| 業 | 社会における役割理解 | ○社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行することができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 自分から相手に発信 | ○その場に応じた挨拶や返事・報告や相手の人権などを尊重した発信をすることができる。 | | | | | | | | | |
| コミュニケーション | 状況に応じた言葉遣いや振る舞い | ○課題に対する解決策を考え、話し合っ てよりよい解決策を見いだす。 ○場や状況に応じた適切な言葉遣いや服装、身だしなみなどを心がけることができる。 ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力 | ○必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話したりする関係を築き、自分の思いや意見を適切に伝えることができる。 | | | | | | | | | |
| 応用力 | 相手を受け入れ、自らそこに参加する | ○自分や他者のよい点を認め、思いやりを持って、よりよい人間関係を作り上げることができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | TPOに応じた意思決定 | ○卒業後の家庭生活や社会生活、職業生活において、自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うことができる。 | | | | | | | | | |
| 応用力 | 将来設計 | ○社会生活・職業生活等に必要な習慣を確立するとともに、余暇の活用などを図り、心豊かな理想とする将来の生活を前向きに設計することができる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | やりがい・生きがい | ○働くことにやりがいを感じる | | | | | | | | | |
| 応用力 | 情報活用 | ○希望する進路の実現に向け、卒業後の生活に必要な情報収集や取捨選択し、自ら判断して活用することができる。 ○地球の多様な文化、社会に関心を持ち、理解の幅を広げる。 | ・正しい敬語の使い方を知る。 ・字の大きさに気を付けて、書き写すことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 | ・自分の気持ちや考え、感じたことを伝えることができる。 ・感謝の気持ちをもって実習先の礼状を書くことができる。 ・時系列や文章の流れを考えながら文を書くことができる。 ・短歌や俳句を鑑賞したり、詠んだりすることを通して、自分の作品を作ることができる。 |
| | 人間関係 | ○集団の一員として自ら役割を理解し、協力していくとともに、その役割を遂行していくことができる。 ○リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームとして協力や共同して活動に取り組むことができる。 | | | | | | | | | |

④平成30年度に向けた本校の「シラバス」の作成の取り組み

平成30年度 早々に提示される予定の次期学習指導要領を受け、本校でも指導内容の縦断的・横断的な系統性を図るために現行の「単元・題材一覧」の要素に、指導目標と評価規準を追加し、計画～評価まで、一つの様式で見通すことができる「シラバス」の様式を示した〔図1〕。今回、Excelを使用したのは、今後、指導時期が変更されたときでも、セルのまとまり単位で時期の入替に柔軟に対応できるからである。

図1 上：本校のシラバスの様式。入力省力化のため入力補助の対応済。

(2) 課題

①次期学習指導要領の内容との関連付け

次期学習指導要領の内容を踏まえた「キャリア教育の全体計画」の作成とマトリックスの整理が必要である。

②指導内容の縦断的・横断的な系統性

現段階での指導内容は、縦断的・横断的な系統性や関連付けに課題がある。教科横断的な指導を進める上で、縦の系統性と横の関連性の整理が必要である。

(3) 次年度の改善の方向性

今後引き続き、次年度に向けた本校の「シラバス」の策定作業を進め、次期学習指導要領が公開を受け、指導内容が準拠するように修正していく作業を平成31年からの移行期間に入る前までに完了させるように備えたい。

今養版キャリアプランニングマトリックス（改訂版）

平成 28 年 1 月 21 日

| 指導観点 | 指導の柱 | 1 学年段階 (学びを通して気付く・知る) | 2 学年段階 (将来を意識し、自ら学ぶ・行動する) | 3 学年段階 (将来を見据え、自ら学ぶ・行動する) |
|-----------|---------------------------|---|---|---|
| 心と体 | 心身の健康 | ○健康でたくましい心と体の必要性に気づき、身につけることができる。 | ○自分の心と体の変化をとらえ、心身の健康を維持することができる。 | ○卒業後の生活を見据え、自ら心と身体の健康が保てるよう、望ましい生活を考え、実行することができる。 |
| | 基本的生活習慣の確立 | ○生活リズムを整え、基本的な食生活や規則正しい生活がわかる。 | ○自立した生活を意識し、望ましい生活習慣を身につけることができる。 | |
| | 職業生活に必要な習慣形成 | ○将来の職業生活に向けた基本的な習慣を身につけることができる。 | ○職業生活を遂行するのに必要な実践的な習慣を形成することができる。 | |
| 自己理解 | 自己有用感、振り返り | ○「分かった」「できた」という体験の中で自己有用感を得ることができる。 ○活動場面での振り返りをもとに次の活動に生かすことができる。 | 継続 | 継続 |
| | 長所・課題の理解 | ○自分の長所や課題に気付くことができる。 | ○客観的に自分の長所や課題を評価することができる。 | ○自分の長所や課題を踏まえて、自分の気持ちや考えをしっかりと持つことができる。 |
| 自己内省 | 物事に対する意欲 | ○時間いっぱい集中する意識を持ち、目標を達成しようと学習に取り組むことができる。 ○自主的・積極的に活動に取り組む大切さを知り、自ら努力を続けようとする気持ちを持つことができる。 ○目標を立て、その達成に向けて取り組むことができる。 | ○目標を達成するために、集中して学習に取り組むことができる。 | ○課題解決に向け、自ら物事に取り組むことができる。 |
| | 課題を解決しようとする心 | ○自己決定・自己反省の過程を繰り返し、課題を解決する姿勢を持つことができる。 | ○自己決定・自己反省の過程を繰り返し、課題を解決しようとする習慣を身につけることができる。 | 継続 |
| 知識・技術 | 社会の仕組みなどの知識・技術 | ○集団生活を通して、社会のルール、マナー、礼儀などを意識して、行動に生かすことができる。 | ○社会のルール、マナー、礼儀などを、状況に応じて使うことができる。 | 継続 |
| | 社会制度やサービスに関する理解と実生活での利用 | ○社会のルールや制度、職業に必要な資格、各種サービス、相談機関等に関する情報や知識を理解することができる。 | ○社会生活上の規範、法の遵守、権利侵害等への対処方法などを理解することができる。 | 継続 |
| | 読み書き計算などの知識・技術 | ○金銭管理や読み書き、計算などの生活に必要な知識を身につけ、日常生活に生かすことができる。 | 継続 | 継続 |
| | 消費生活に関する基本的な事柄の理解と計画的な消費 | ○必要なものを計画的に消費することや預貯金などを通して保管の大切さを知ることができる。 ○計画的な消費生活を送る上で必要な事柄や、労働の対価としての給与の意味を知ることができる。 | ○収入と支出のバランスを考え、模擬通貨等を使って、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることができる。 継続 | ○卒業後の収入と支出のバランスを考え、計画的にお金を使ったり、貯蓄したりすることが大切であると分かり、実行する意欲を持つことができる。 継続 |
| 職業 | 他者評価の受容 | ○他者から受けた評価に、耳を傾け、理解することができる。 ○与えられた仕事の意味を理解し、集中して取り組むことができる。 ○自分の言動が相手に及ぼす影響について知ることができる。 | ○他者の考えや個性を尊重し、自分との差異を認めながらも受容することができる。 ○手早さ、正確さ、丁寧さを意識しながら、与えられた仕事に取り組むことができる。 継続 | ○他者の気持ちや考えを理解・尊重し、自分のあり方・生き方に生かすことができる。 継続 |
| | 職業理解 | ○職場見学や実習を通して様々な職業があることを知り、働くことに関心を持つことができる。 ○身の回りのいろいろな職業が社会や生活に果たしている役割や意義を理解し、その仕事に求められる能力などを考えることができる。 ○職業との関係における自分の能力や適性を理解することができる。 | 継続 ○自分の能力や適性を踏まえて、将来の職業について具体的に考えることができる。 | ○職業生活の中にやりがいや生きがいを見だし、前向きに自己の未来を設計するなど、社会の一員である意識を持つことができる。 |
| | 社会における役割理解 | ○学校生活や家庭生活において、自分が果たすべき役割があることを理解し、継続的に実行することができる。 | ○社会生活の中で自分が果たすべき役割があることを理解し、実行することができる。 | 継続 |
| | 自分から相手に発信 | ○場や状況に合わせた声の大きさで、挨拶・返事・報告ができる。 ○敬語を使うなど、社会生活に必要な意思表現ができる。 | 継続 | ○その場に応じた挨拶・返事・報告や相手の人権を尊重した発言をすることができる。 |
| コミュニケーション | 状況に応じた言葉遣いや振る舞い | ○相手の立場を考えて話したり行動したりすることができる。 ○場や状況に応じた適切な言葉遣い、服装、身だしなみを心がけることができる。 ○集団の中で、自分の思いや意見を適切に表現することができる。 | 継続 | 継続 |
| | 必要な支援を適切に求めたり、相談したりできる表現力 | ○必要な支援を他者に求めることができる。 | ○必要な情報を伝えたり、自分の悩みを話せたりする関係を築き、自分の思いや意見を適切に伝えることができる。 | 継続 |
| | 相手を受け入れ、自らそこに参加する | ○相手の考え・気持ちを受け入れたり、集団に合わせたりすることができる。 ○自分と相手の違いに気づき、異性や異年齢の人たちと共に活動することができる。 | ○相手の立場や考え方を理解して受け入れ、かかわることができる。 | ○自分や他者のよい点を認め、思いやりを持って、よりよい人間関係を作り上げることができる。 |
| 応用力 | TPOに応じた意思決定 | ○TPOに応じて何ができるか、何をすべきか考え、判断し選択することができる。 | ○自己の個性や興味・関心に基づいて、TPOに応じたよりよい選択をすることができる。 | ○卒業後の家庭生活・社会生活・職業生活において、自らの意思と責任でよりよい選択・決定を行うことができる。 |
| | 将来設計 | ○目標を達成するためには行程があることを理解し、与えられた計画や行程に取り組むことができる。 | ○学校・寄宿舎生活、家庭生活において、計画を立て、物事に主体的に取り組むことができる。 | ○社会生活・職業生活等に必要な習慣を確立するとともに、余暇の活用等を図り、心豊かな理想とする将来の生活を前向きに設計することができる。 |
| | やりがい・生きがい | ○好きな活動への意欲を学習活動へつなげることができる。 | ○働くことにやりがいを感じるようになる。 | 継続 |
| | 情報活用 | ○学校・寄宿舎・地域社会の中には様々な活動があることを、体験を通じて理解できる。 ○社会の出来事に興味を持ち、働く人や仕事について調べることで、情報を得るためには様々な方法があることを体験を通して理解できる。 | ○社会の出来事に興味をもち、働く人や仕事について調べることで、様々な情報を収集し、自ら活用することができる。 | ○希望する進路の実現に向け、卒業後の生活に必要な情報収集・取捨選択し、自ら判断して活用することができる。 |
| | 人間関係 | ○集団活動に参加し、他者と協力することができる。 ○リーダーとフォロアーの立場を理解し、チームとして協力・共同して活動に取り組むことができる。 | ○集団において自分が果たす役割を理解し、周りと協力することができる。 継続 | ○集団の一員として自ら役割を理解し、協力していくとともに、その役割を遂行していくことができる。 継続 |

平成

年度

第

学年

シラバス

●黄色いセルに入力可能です

●はプルダウンバーから選択します。

作成担当者名 教諭

| | |
|------------------------------|-------|
| 使用教科図書 (学校教育法附則第9条の規定による) | 使用副教材 |
|------------------------------|-------|

| | |
|---|--|
| 目 | |
| 標 | |

| 月 | 単元題材 | 目標 | | 主な学習内容 | 評価規準 | | 評価方法 | | 指導内容表 | |
|---|------|----|----|--------|------|----|------|---|-------|--|
| | | 技能 | 知識 | | 技能 | 知識 | | | | |
| 4 | | 技能 | 知識 | | 技能 | 知識 | 35 | % | 観察 | |
| | | | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思 | 判 | | 35 | % | 定期考査 | | | |
| | | 表 | | | | | | | | |
| | | 態 | 度 | | 30 | % | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | 技能 | 知識 | | 技能 | 知識 | 35 | % | 観察 | |
| | | | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思 | 判 | | 35 | % | 定期考査 | | | |
| | | 表 | | | | | | | | |
| | | 態 | 度 | | 30 | % | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | 技能 | 知識 | | 技能 | 知識 | 35 | % | 観察 | |
| | | | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思 | 判 | | 35 | % | 定期考査 | | | |
| | | 表 | | | | | | | | |
| | | 態 | 度 | | 30 | % | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | 技能 | 知識 | | 技能 | 知識 | 35 | % | 観察 | |
| | | | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思 | 判 | | 35 | % | 定期考査 | | | |
| | | 表 | | | | | | | | |
| | | 態 | 度 | | 30 | % | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | 技能 | 知識 | | 技能 | 知識 | 35 | % | 観察 | |
| | | | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思 | 判 | | 35 | % | 定期考査 | | | |
| | | 表 | | | | | | | | |
| | | 態 | 度 | | 30 | % | | | | |
| | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|------|--|--|------|------|------|--|
| | | 技能知識 | | | 技能知識 | 35 % | 観察 | |
| | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思判表 | | | 35 % | 定期考査 | | |
| | | 態度 | | | 態度 | 30 % | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | 技能知識 | | | 技能知識 | 35 % | 観察 | |
| | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思判表 | | | 35 % | 定期考査 | | |
| | | 態度 | | | 態度 | 30 % | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | 技能知識 | | | 技能知識 | 35 % | 観察 | |
| | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思判表 | | | 35 % | 定期考査 | | |
| | | 態度 | | | 態度 | 30 % | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | 技能知識 | | | 技能知識 | 35 % | 観察 | |
| | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思判表 | | | 35 % | 定期考査 | | |
| | | 態度 | | | 態度 | 30 % | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | 技能知識 | | | 技能知識 | 35 % | 観察 | |
| | | | | | | | 小テスト | |
| | | 思判表 | | | 35 % | 定期考査 | | |
| | | 態度 | | | 態度 | 30 % | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |